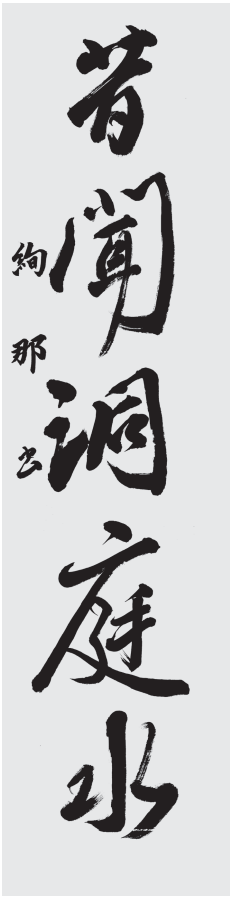
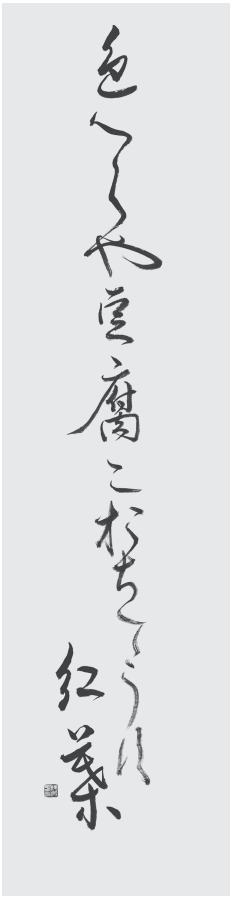
今月の最優秀作品

漢字条幅



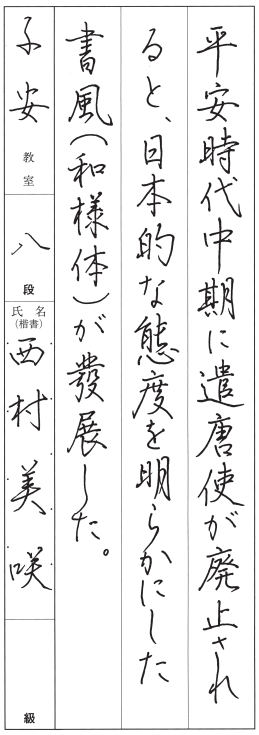
分水　**山﨑　絢那**　気迫を感じる線に感動を覚える。字の大小、太細、潤渇など変化あり。落款のおさまりも良く場中第一の作。
（選評　中村　紫泉）

かな条幅



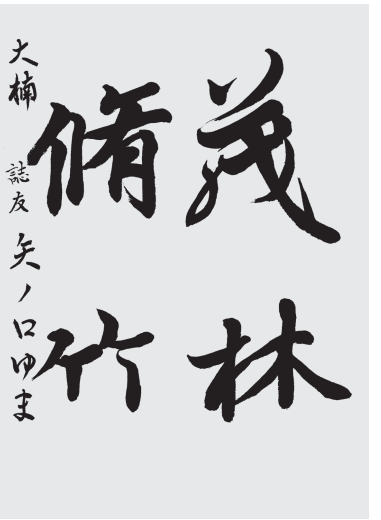
紅玄　**大島　詩優**　静かに書き出し、三字連綿の筆運びもよどみなく下部の渇筆へと自然に流れている。「紅」の含墨で潤渇の変化が冴え見事な作となった。
（選評　鈴木　華邑）

ペン



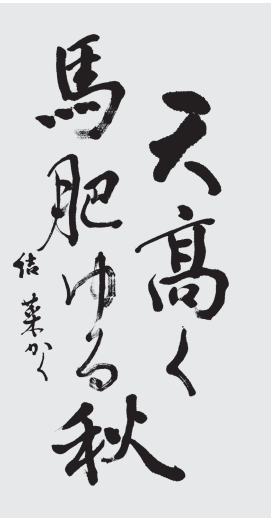
子安　**西村　美咲**　勢いがあるのに乱雑ではなく凛とした強さを感じる一気呵成の筆致。名前まで気を抜くことなく仕上げ、まさに最高位にふさわしい作品。
（選評　山田　智舟）

漢字半紙



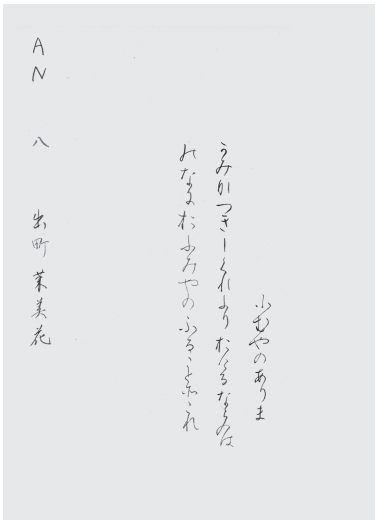
大楠　**矢ノ口ゆま**　原帖をしっかりと捉え小ぶりながらも流麗な運筆により躍動感がある。抑揚の効いた線質は精進の賜物。名前も品良く書かれている。
（選評　山﨑　貴子）

新和様



福岡　**本田　結菜**　充分な筆力と運筆の緩急により太細や潤渇の変化を紙面に表現。他を圧倒する見ごたえのある作品。将来が楽しみ。
（選評　八尋　光華）

かな半紙



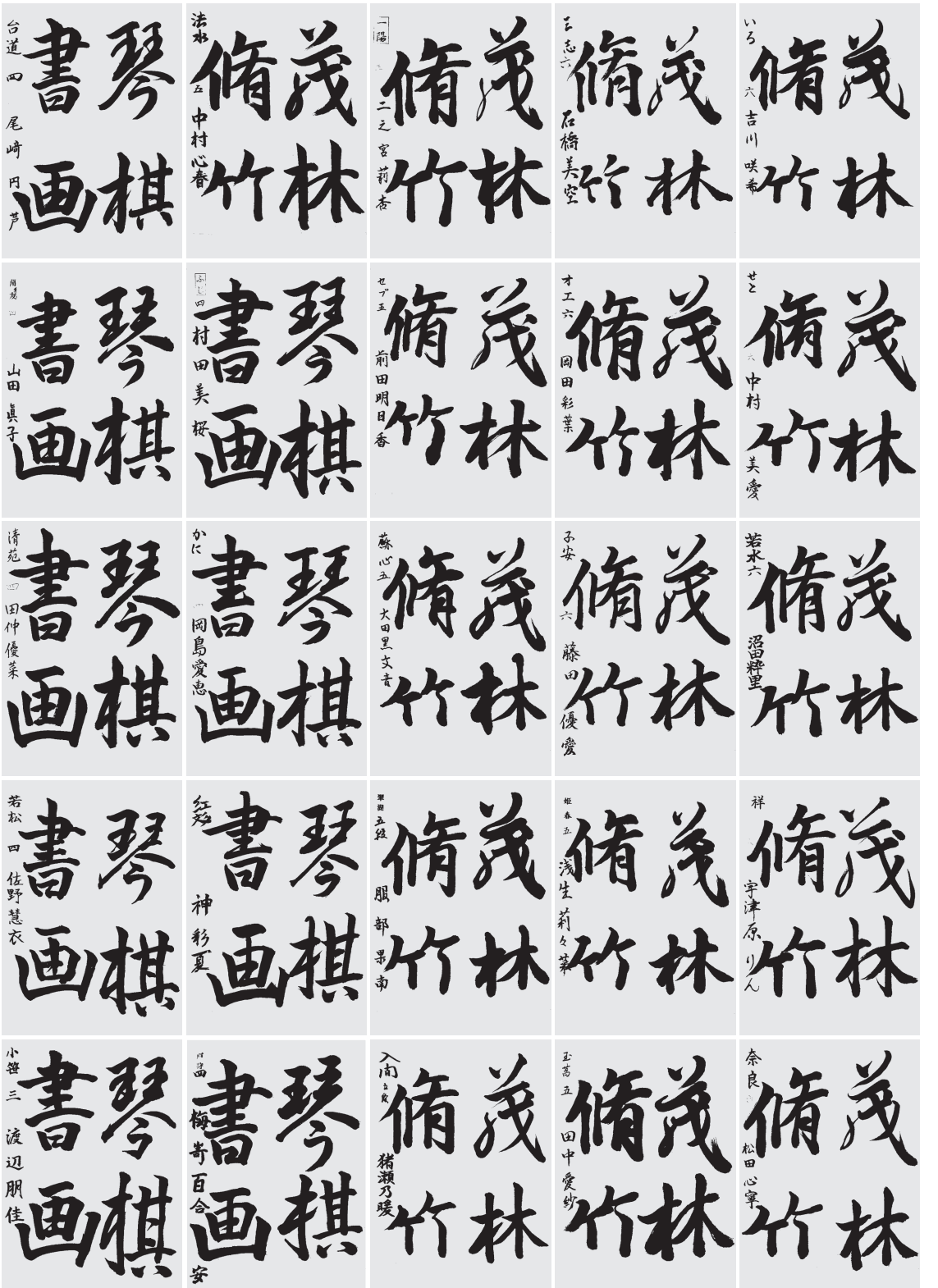
ＡＮ　**出町茉美花**　鋒先をよく活かし、強く突き返す所やなめらかな連綿の筆運びが素晴らしい。原帖をしっかり見て書けた。
（選評　多田　渓翠）

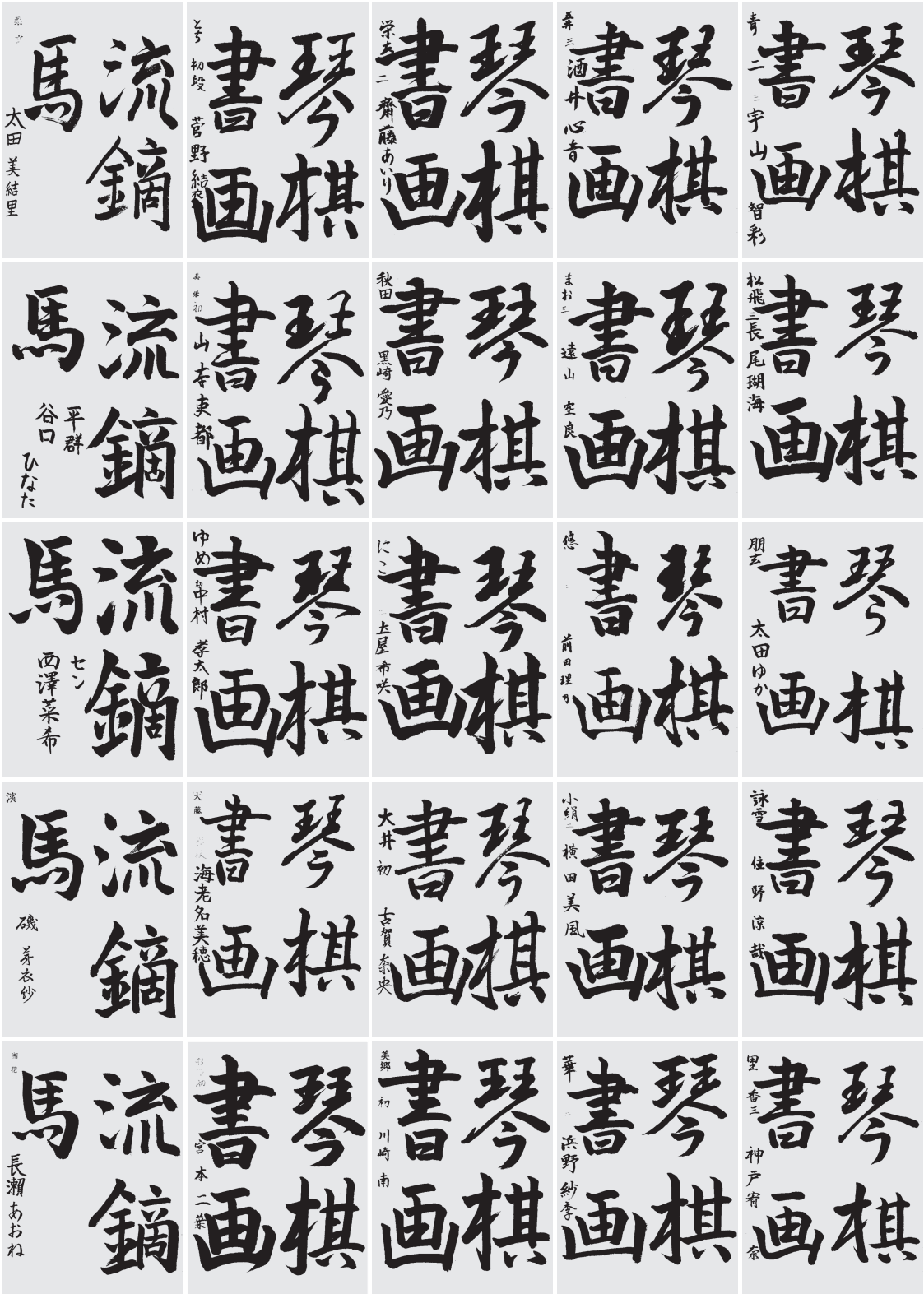
11月提出の競書作品の写真版全作品は11月19日（木）より本会ホームページに掲載いたします。

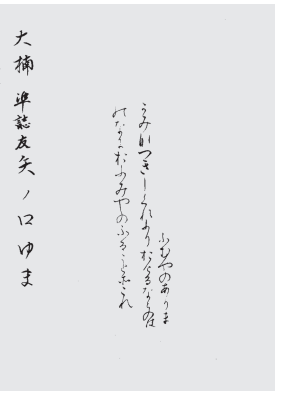
◇今月の優秀作品◇

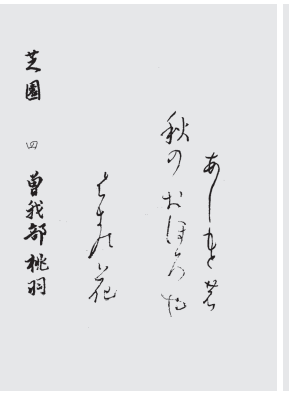


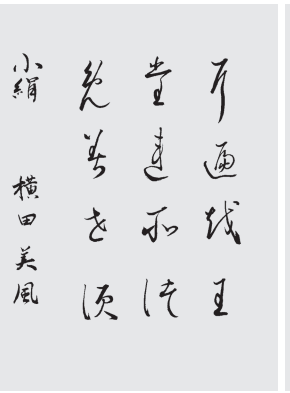
恵好 大森詩音
うみ 坂本麗来
宮部 八 跡部莉菜
IIII 八 居軒綾音
紅葉 二 酒井優里
能見 佐藤希羽
湯田坂 柚希
香桜 八 遠藤結乙
八段 市川麻侑
あず 七 酒巻莉緒
山本 片野愛珠
有馬準 誌友 安岡莉那
筋野愛菜
人吉 村本佳穂
そら 二 後藤大知
大月準誌友 猛井里穂
あい 三原彩日香
川園 八 中村早希
高森 七 片桐琉朱
長堀 七 室内鈴
桶川 山崎咲音
用賀 八 行本緯智
愛媛 橋本七海
玉扇 七 大島杏菜
ふみ 七 及川菜月

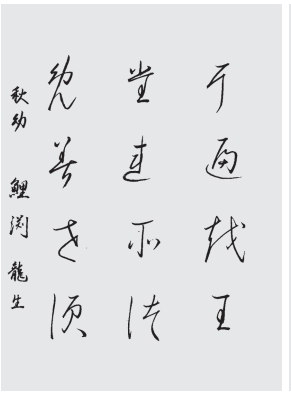


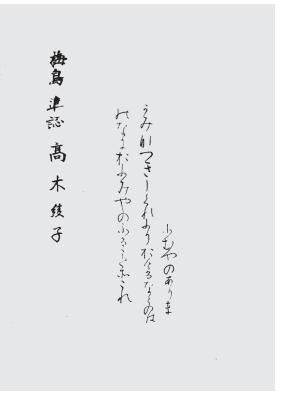

琴棋書画
青二 宇山 智彩
琴棋書画
舞三 酒井 心音
琴棋書画
栄左二 齋藤あいり
琴棋書画
とち 初段 菅野 結衣
琴棋書画
流鏑馬
太田 美結里
琴棋書画
松飛三長 尾瑚海
琴棋書画
まお三 遠山 空良
琴棋書画
秋田 黒崎 愛乃
琴棋書画
山本 吏都
琴棋書画
流鏑馬
平群 谷口 ひなた
琴棋書画
朋玄 太田ゆか
琴棋書画
徳 前田理乃
琴棋書画
にこ 土屋 希咲
琴棋書画
ゆめ 中村 孝太郎
琴棋書画
流鏑馬
セン 西澤菜希
琴棋書画
詠雪 住野 涼哉
琴棋書画
小絹二 横田 美風
琴棋書画
大井 初 古賀 奈央
琴棋書画
海老名 美穂
琴棋書画
流鏑馬
磯 茅衣沙
琴棋書画
里 香三 神戸 宥奈
琴棋書画
華 浜野 紗李
琴棋書画
美郷 初 川崎 南
琴棋書画
宮本 二葉
琴棋書画
流鏑馬
長瀬 あおね

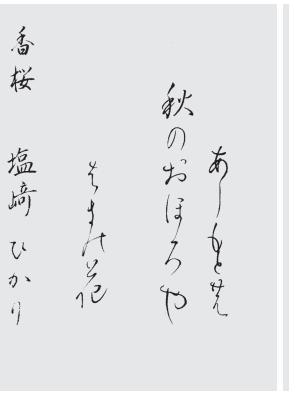

大楠　準誌友矢ノ口ゆま

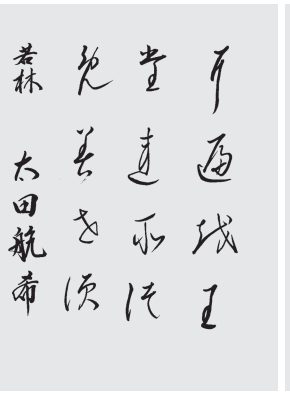

芝園　四　曽我部桃羽

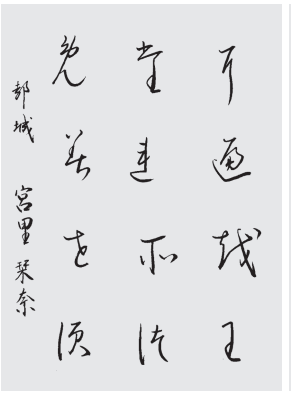

小綬　横田美風

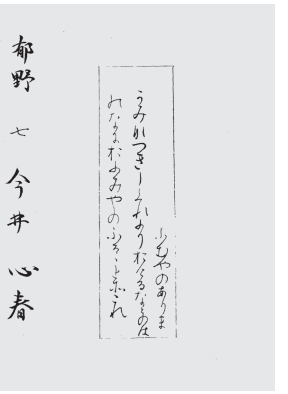

秋幼　鯉渕龍生

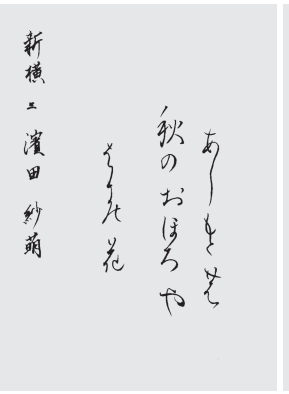

港島　準誌　高木紋子

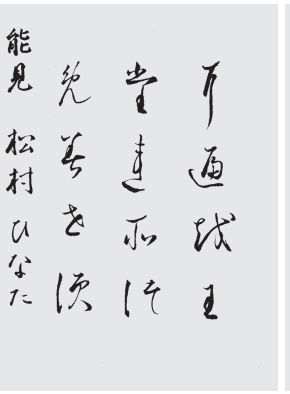

香桜　塩崎ひかり

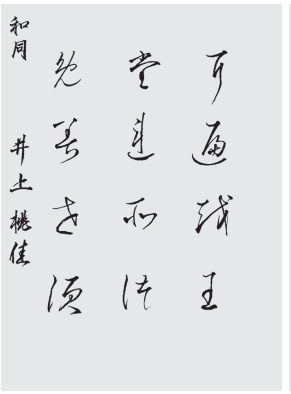

若林　太田航希

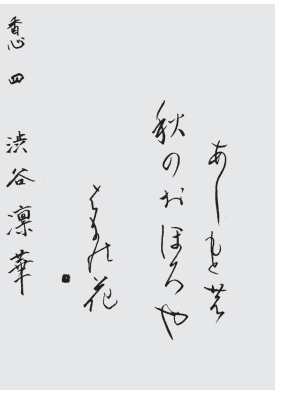

郡城　宮里琴奈

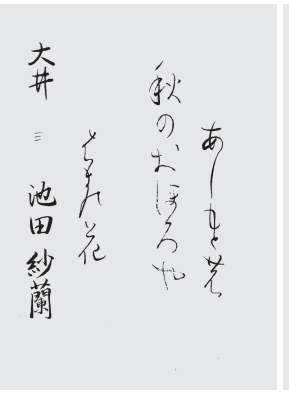

都野　七　今井心春

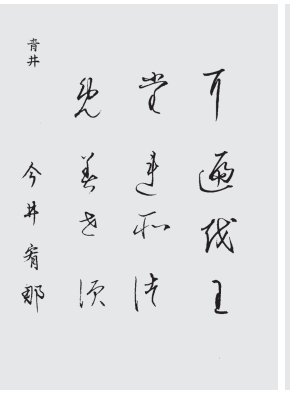

新横二　濱田紗萌

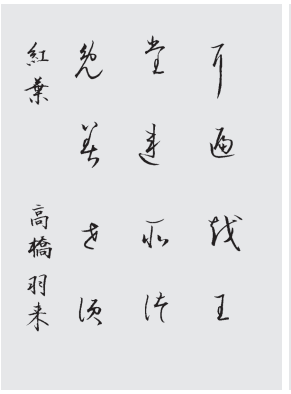

能見　松村ひなた

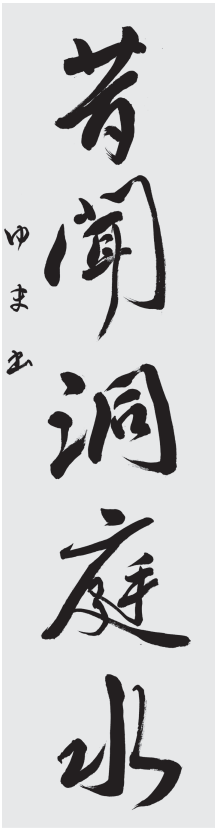

和同　井上桃佳


香心　四　渋谷凛華

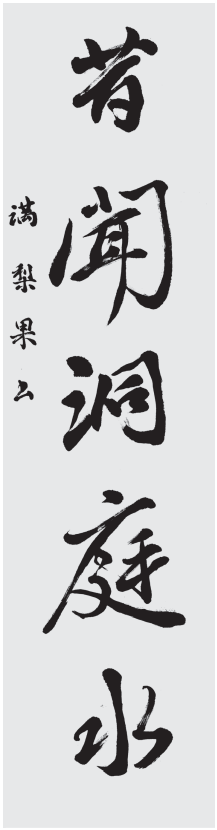

大井　三　池田紗蘭


青井　今井宥那


紅葉　高橋羽来



大楠　矢ノ口ゆま



FF　澤田満梨果



東海　中野　蓮介



泉花　米持　陽莉



月倫　渡部　理衣



福岡　本田　結菜



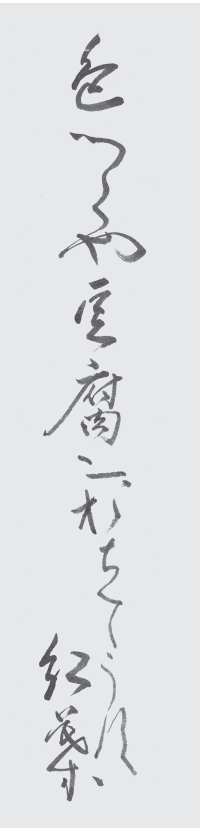
蘭友　熊谷　奈子

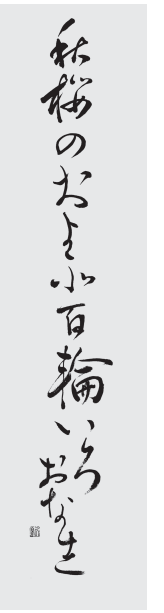


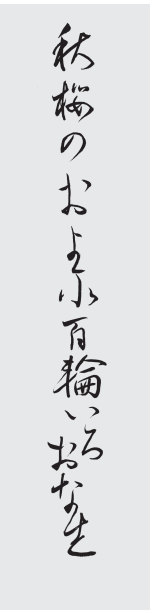
南平　阪本　光優

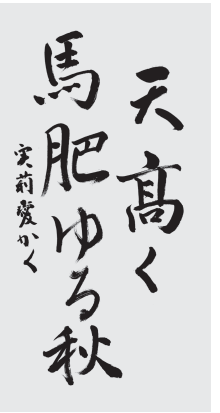


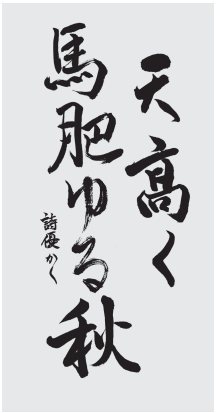
郁野　相澤りょう

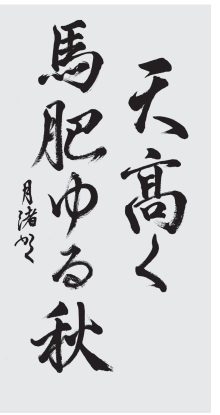

松原　高橋良々菜

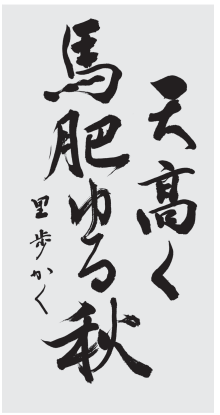

三志　松岡　紀子

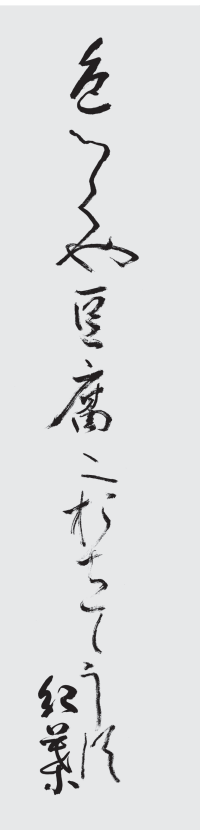

蘭友　佐々木美音

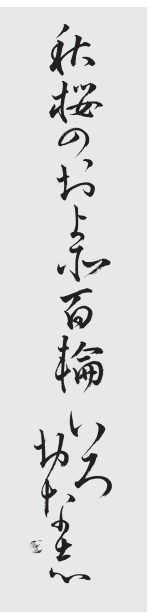

頸城　小山実莉愛

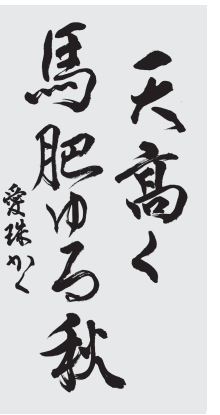

紅迄　大島　詩優

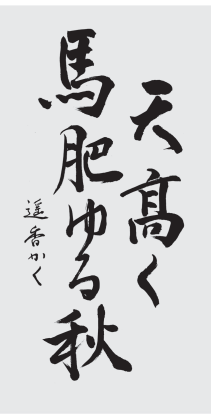

恵那　前田　月渚

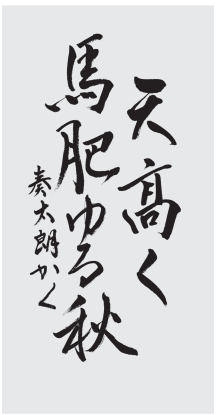

秀景　高橋　里歩

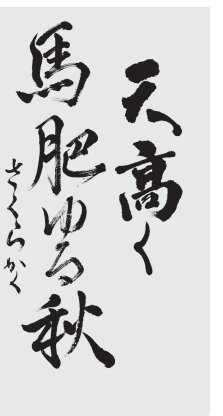

書友　堀本　春香

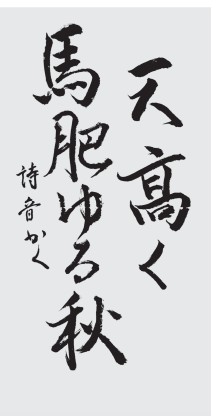

白根　庭山　凛果

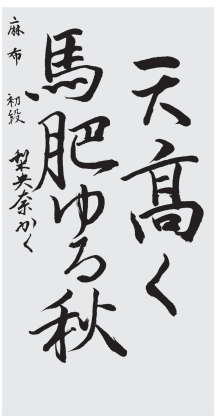

山本　片野　愛珠

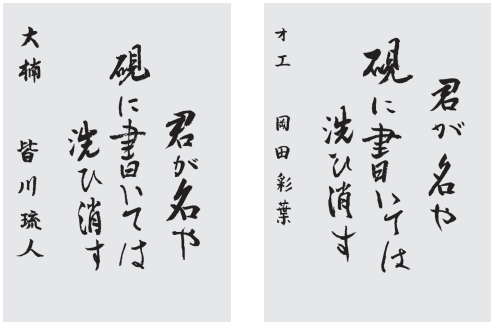

大道　山下　遥香


清月　矢嶋泰太朗

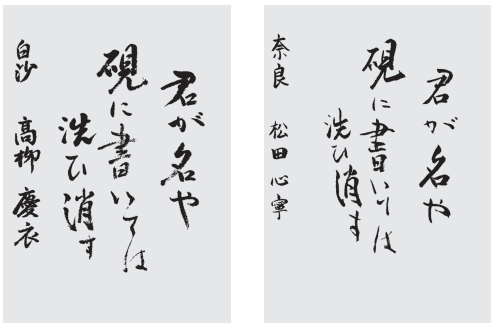

美栄　佐藤さくら


恵迄　大森　詩音

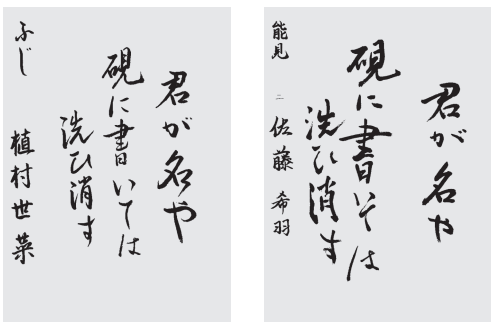

麻布　山根梨央奈



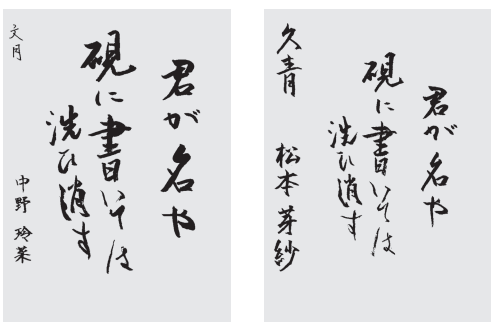
君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
オエ　岡田彩葉



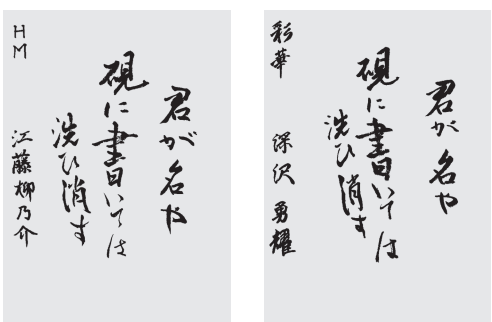
君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
奈良　松田心寧



君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
能見　佐藤希羽



君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
久青　松本芽紗



君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
彩華　深沢勇耀

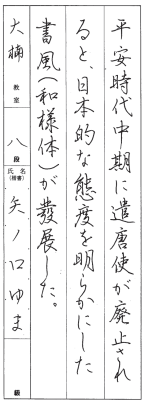
君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
大楠　皆川琉人

君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
白沙　高柳慶衣

君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
ふじ　植村世菜

君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
文月　中野玲菜

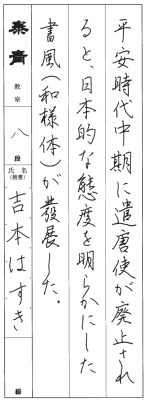
君が名や
硯に書いては
洗ひ消す
HM　江藤柳乃介



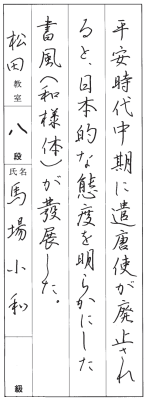
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
大楠 教室 八段 氏名(理事) 矢ノ口ゆま 級



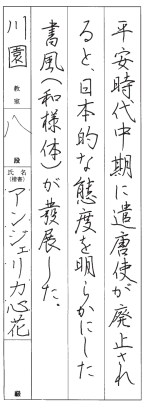
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
川園 教室 八段 氏名(理事) アンジェリカ心花 級



平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
玉弥 教室 七段 氏名(理事) 松澤仁志 級



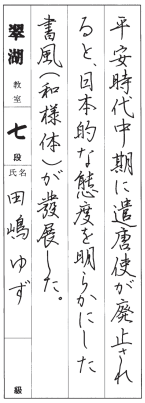
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
分水 教室 八段 氏名(理事) 山崎絢那 級



平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
仙水 教室 八段 氏名(理事) 田中杏莉沙 級



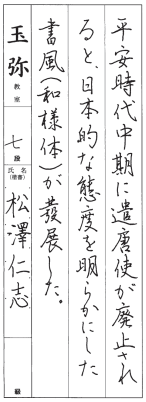
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
翠 教室 七段 氏名 佐藤彩花 級



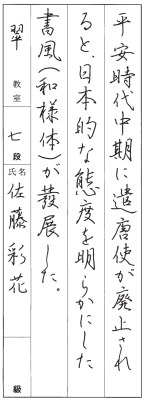
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
泰斎 教室 八段 氏名(理事) 吉本はすき 級



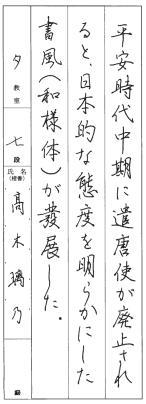
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
翠湖 教室 七段 氏名 田嶋ゆず 級



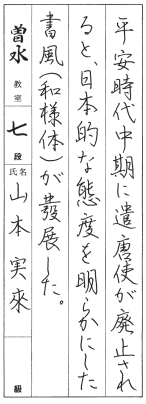
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
夕 教室 七段 氏名(理事) 高木璃乃 級



平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
松田 教室 八段 氏名 馬場小和 級



平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
文月 教室 七段 氏名(理事) 山本望生



平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
曽水 教室 七段 氏名 山本実來 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
久青 教室 七 段 氏名(推薦) 髙崎 釉乃 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
南平 教室 六 段 氏名(推薦) 小山 秋江 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
中原 教室 五 段 氏名(推薦) 古山 りの 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
井三 教室 四 段 氏名(推薦) 野中 ミミろ 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
佳朋 教室 三 段 氏名(推薦) 星野 有咲 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
そり 教室 二 段 氏名(推薦) 外海 咲喜 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
文教 教室 六 段 氏名 栗田 緒花 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
陽翠 教室 六 段 氏名(推薦) 池田 結香 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
栄寿 教室 五 段 氏名(推薦) 藤安 絢音 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
朋玄 支部 [illegible] 段 氏名(推薦) 太田 ゆか 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
せと 教室 三 段 氏名(推薦) 野口 実梨 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
三志 教室 初 段 氏名(推薦) 松岡 紀子 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
永岳 教室 六 段 氏名(推薦) 富居 叶羽 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
蘭友 教室 六 段 氏名(推薦) 仙洞田 莉桜 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
柳蛙 教室 五 段 氏名 立畠優衣奈 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
光書 教室 四 段 氏名(推薦) 渡辺 有沙 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
船堀 教室 二 段 氏名(推薦) 市川 麻侑 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
栄友 教室 初 段 氏名 金子 結愛 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
ふじ 教室 六 段 氏名(推薦) 植村 世菜 級

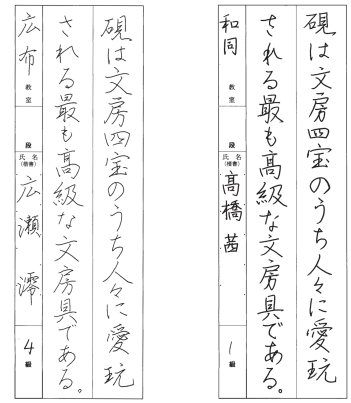
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
恵妓 教室 六 段 氏名(推薦) 百瀬 香奈子 級

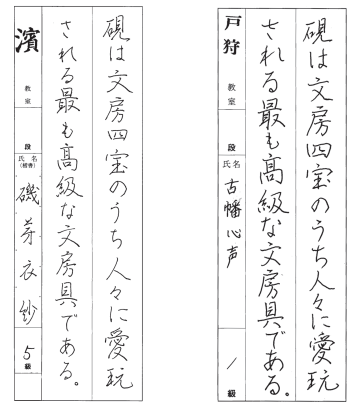
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
東谷山 教室 五 段 氏名 大良 春瑠 級

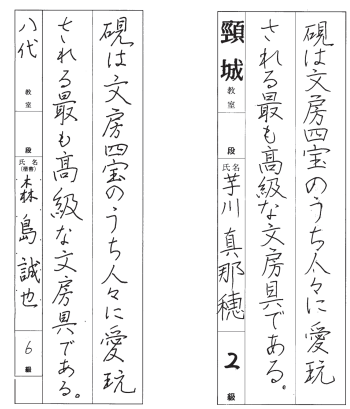
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
芳書 教室 三 段 氏名 鈴木 杏奈 級

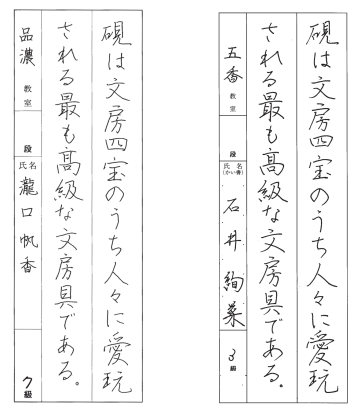
平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
名西 教室 二 段 氏名(推薦) 杉原 亜美 級

平安時代中期に遣唐使が廃止されると、日本的な態度を明らかにした書風(和様体)が發展した。
秋田 支部 初 段 氏名(推薦) 黒崎 愛乃 級


硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
和同 教室 段 名前 高橋茜 1級


硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
戸狩 教室 段 名前 古幡心声 ／級


硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
頸城 教室 段 名前 芋川真那穂 2級

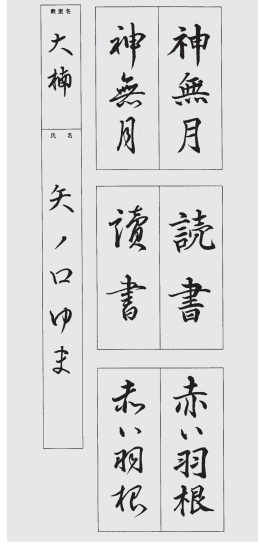

硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
五香 教室 段 名前 石井絢菜 3級

硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
広布 教室 段 名前 広瀬澪 4級

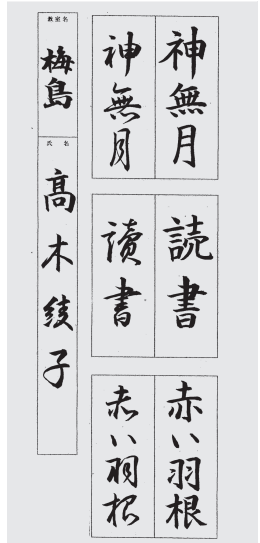
硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
濱 教室 段 名前 磯芳衣紗 5級

硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
八代 教室 段 名前 森島誠也 6級

硯は文房四宝のうち人々に愛玩される最も高級な文房具である。
品濃 教室 段 名前 龍口帆香 7級

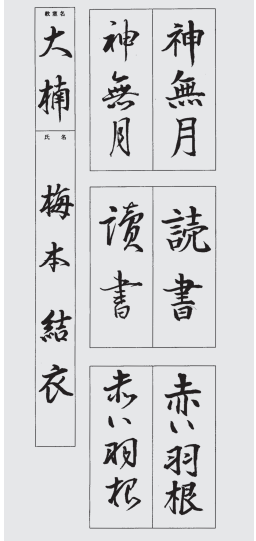

教室名 大楠 氏名 矢ノ口ゆま
神無月 読書 赤い羽根


教室名 白雪 氏名 小泉虎太郎
神無月 読書 赤い羽根


教室名 梅島 氏名 高木綾子
神無月 読書 赤い羽根


教室名 香 氏名 高橋美幸
神無月 読書 赤い羽根


教室名 浮羽 氏名 江田藍子
神無月 読書 赤い羽根


教室名 大楠 氏名 梅本結衣
神無月 読書 赤い羽根

＜平がな一字書＞



大楠　梅本　結衣



大楠　原田　唯衣



紅　畑中　咲希



平泉　吉野　絢菜



びわ　石橋　來亜



恵翠　片野　悠花



大楠　加藤　結子



上紘　村上　菜奈

＜漢字一字書＞



そり　里見　彩乃



そり　外海　咲喜



大楠　八角　紗世



羊　乙川　文康



桂書　曽我　優月



そり　阿部　源也



大楠　内田　珠渚



平泉　熊谷　凌太